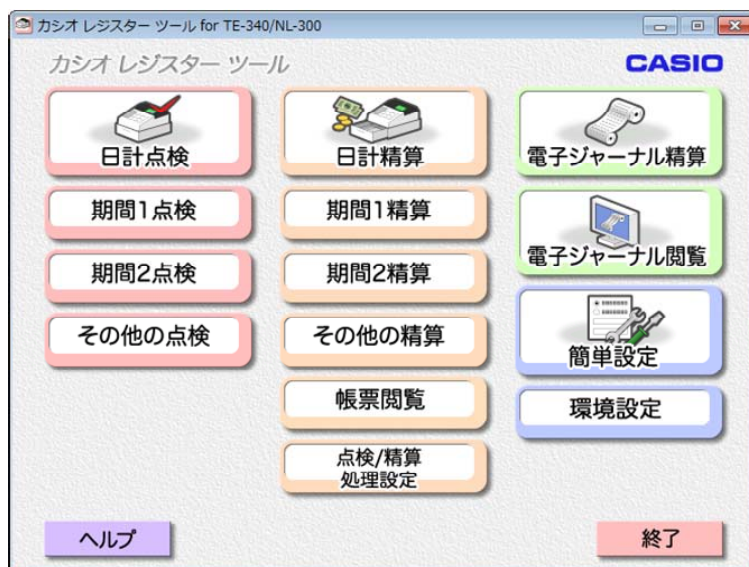
2013年06月版

ご利用ガイド

カシオ レジスター ツール

for TE-340/NL-300

SA

はじめに

このたびは、TE-340/NL-300 をご利用いただき、誠にありがとうございます。

このマニュアルでは、カシオ レジスター ツール for TE-340/NL-300 について説明しています。

あらかじめご承知いただきたいこと

- 本書の内容は、製品の改良や仕様変更などにより予告なく変更することがあります。
- 本書および本製品の使用、故障、修理などによりデータが消えることや、変化に起因して生じた損害、遺失利益、第三者からのいかなる請求につきましては、弊社は責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本書の著作権、および本書に記載のソフトウェアに関するすべての権利は、特に記載のない限り、カシオ計算機株式会社が所有しています。弊社の書面による同意なしに本書およびソフトウェアの一部または全部を無断転載することを禁止します。
- 本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなど、お気づきの点がありましたらご連絡ください。
- 本書に記載の画面やイラストは、実際の製品とことなることがあります。キー、アイコンは簡略化して記載しています
- 「カシオ」、「CASIO」、「TE-340」、「NL-300」は、カシオ計算機㈱の商標または登録商標です。
- 「Microsoft」、「Windows」は、米国マイクロソフト社の米国及び、その他の国における登録商標です。
- その他、製品名などの固有名詞は、各社の商標または登録商標です。

目次

1．本設定ツールの主な機能

1.1 設定ツールの主な機能

・レジスターの売り上げデータや設定データを、保存や管理するためのパソコンのソフトウェアです。

・レジスターから売上データを取り込み、データ保存し、レポート作成します。

・レジスターから電子ジャーナルデータを取り込んで、閲覧・保存します。

・パソコンからレジスターにいろいろな設定を行ないます。

1.2 日常の業務

この章では、本ツールの機能をより深く理解いただくために、本ツールを使って行なえる日常の業務の一部を説明します。

1.2.1　精算

営業時間終了後に、一日や月次の締めるときに使用します。 精算では、レジスターから送られてきた売上データをレポートとして表示することが可能です。レジスターの売上データは精算終了時にクリアされます。

1.2.2　一日の締めをする場合

①＜日計精算＞をクリックします。

②確認ダイアログが表示されて、レジスターと通信します。

③レポートが表示されます。

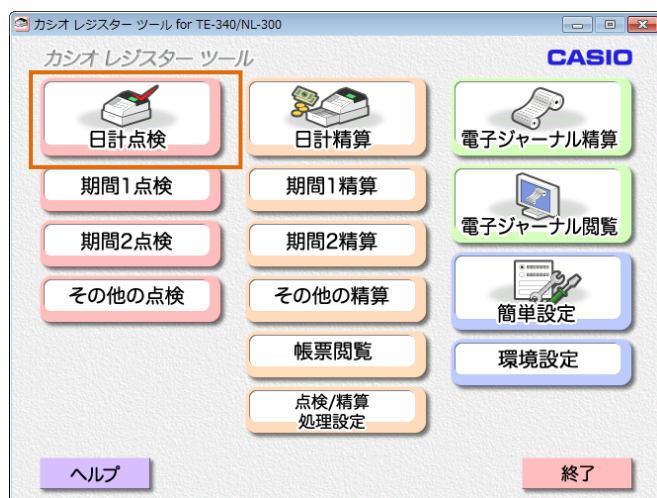
○ 精算レポート内容は＜帳票閲覧＞を使って、後で確認することも可能です。

1.2.3　日計精算/期間精算とその他精算について

⑴ 日計精算：今日一日の売上の合計です。商品分類（PLU や部門など）や取引キー、担当者別の売上を集計することが可能です。
⑵ 期間集計精算：週や月などのある一定期間の売上の合計です。期間１と２は週と月など集計期間を変えたい場合や月計等の効果測定に使用する場合に用いられます。
⑶ その他精算は一括設定（精算）で設定されたもの以外の精算などする場合に 使用します。

1.2.4　点検

営業時間中に、現時点の売上高などの確認をしたいときに使用します。 点検では､レジスターから送られてきた売上データをレポートとして表示します｡また点検は、レジスターの売上データには何も影響を与えません。

①＜日計点検＞をクリックします。

②確認ダイアログが表示されて、レジスターと通信します。

③レポートが表示されます。

1.2.5　日計点検/期間点検とその他点検について

⑴ 日計点検：本日現在までの売上の合計です。商品分類（PLU や部門など）や取引キー、担当者別の売上を集計することが可能です。
⑵ 期間集計点検：週や月などのある一定期間の売上の合計の点検を行います。前回の期間精算後から、現在までの合計を点検することができます。
⑶ その他点検は一括設定（点検）で設定されたもの以外の点検などする場合に 使用します。

2．セットアップと環境設定

2.1 動作環境

OS：Microsoft® Windows® XP/7/8

文字コードセットに関する注意：

本設定ツールは、Windows のマルチバイト文字セット(MBCS ANSI-932)で動作します。ワイド文字セット（Unicode）、および外字文字セットには対応していません。Windows のマルチバイト文字セット(MBCS ANSI-932)以外の文字セットが入力された場合は、動作を保証しません。

ファイルパスに関する注意：

本設定ツールでは、最大 255 バイトまでのファイルパスを処理することができます。255 バイトを超えるファイルパスが入力された場合、動作を保証しません。

ハードウェア： IBM PC/AT 互換機

COM ポート.........＊1

CPU　使用している OS のシステム要件以上

RAM　使用している OS のシステム要件以上

ハードディスク空き容量　1GB 以上

ディスプレイ　XGA（1024 x 768 ドット）, High Color（16 ビット）以上

マウスまたは、それに類するポインティングデバイス

COM 接続ケーブル インターリンクケーブル（クロス，市販品）.........＊1

＊1：パソコンの USB ポートを使用して接続する場合は、インターリンクケーブル（市販品）と COM-USB 変換ケーブル（市販品）を使用して、レジスターとパソコンを接続します。

ソフトウェア： 売上データ処理を行なう場合、Microsoft® Excel® がパソコンにインストールされていなければなりません。

Excel をご使用の場合は、あらかじめ以下の設定を行っていただく必要があります。

詳細は、WEB 上のインストールについての情報をご参照ください。

Excel 2003 の場合

［ツール］-［マクロ］-［セキュリティ］-［信頼できる発行元］のタブをクリックし、「Visual Basic プロジェクトへのアクセスを信頼する (V)」にチェックを入れて［OK］を押す。

Excel 2007/2010/2013 の場合

［セキュリティ センター］/［セキュリティ センターの設定］［マクロの設定］［VBA プロジェクト オブジェクト モデルへのアクセスを信頼する (V)］にチェックを入れて［OK］を押す。

2.2 インストール方法

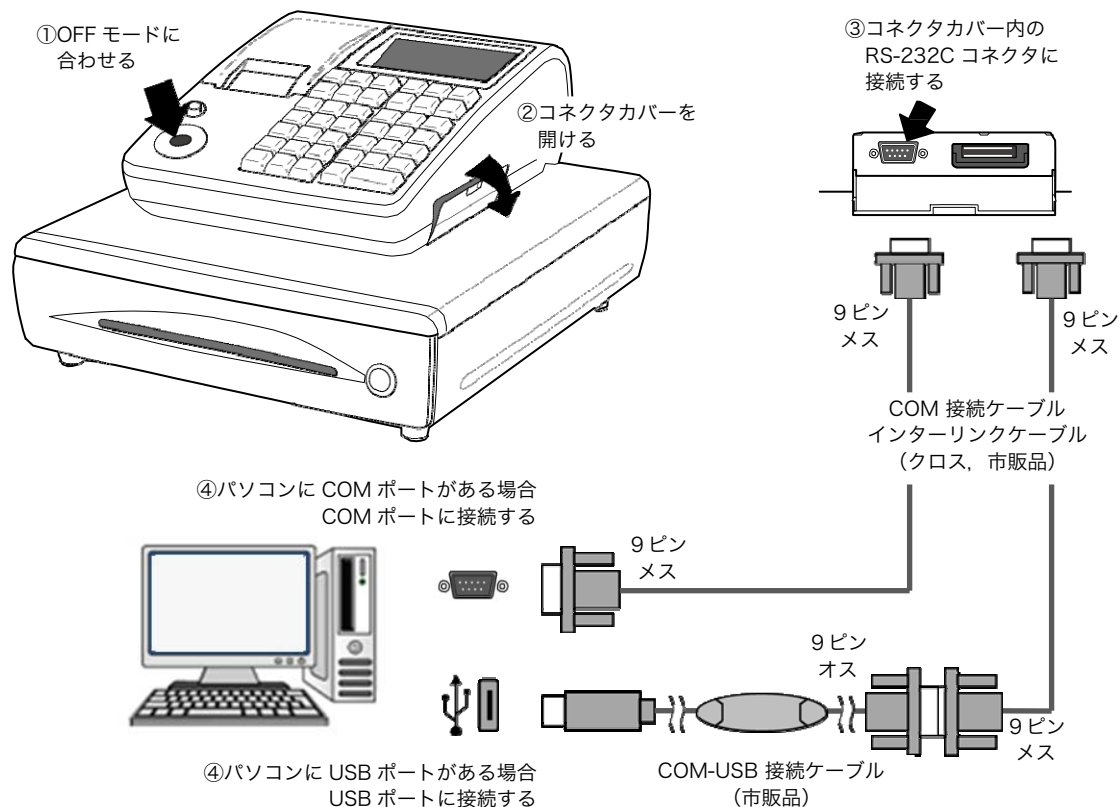
セットアップの EXE を起動して、インストールしてください。

ダイアログに従い、パソコン上で実行するとインストールされます。

詳細は、WEB 上のインストールについての情報をご参照ください。

2.3 パソコンとレジスターの接続

レジスターのモードスイッチを OFF の位置にして、パソコンとレジスターを接続します。
接続後はレジスターのモードスイッチを OFF 以外の位置にしてください。
レジスターからケーブルを取り外すときは、レジスターのモードスイッチを OFF の位置にします。

レジスターとケーブルの接続

(※)動作確認済みケーブル（市販品）については、当社の WEB を参照してください。

2.4 ソフトウェアの起動

インストール後、カシオレジスターツールを起動するには、[スタート] - [プログラム] - [CASIO ECR ツール] - [カシオレジスターツール for TE-340, NL-300] を選択します。

2.5 パソコンデータのバックアップ

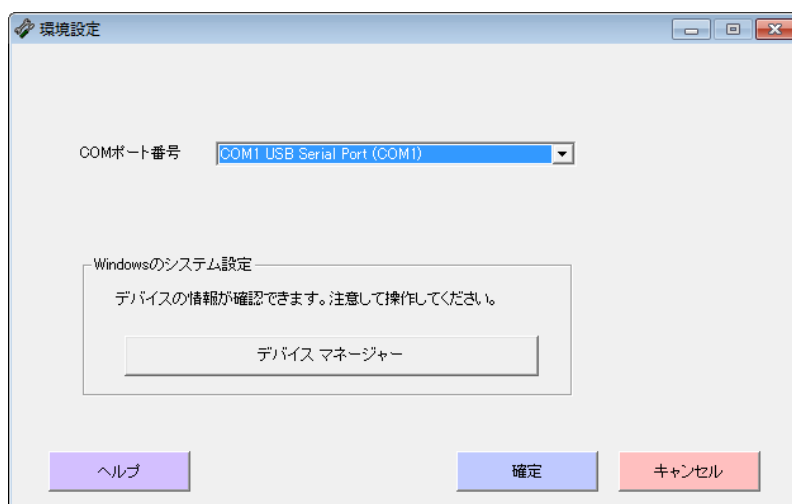
カシオレジスターツールでレジスターの精算を行なうと、レジスターのデータは消去され、パソコンにデータが移ります。パソコ ンの故障などで売上データが無くなるのを防ぐために、パソコンデータを定期的にバックアップすることをお勧めいたします。

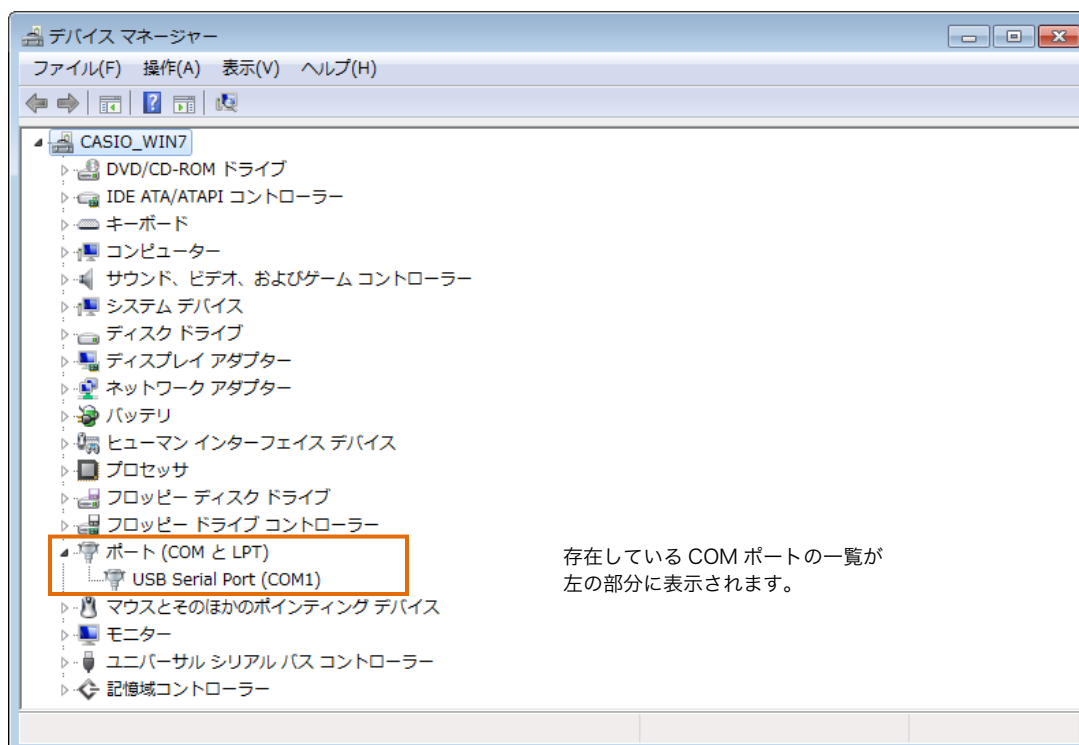
・Windows® XP の場合には、以下のフォルダーの下にデータが保存されます。
　　>共有ドキュメント>CASIO>ECR
　　（C:\Documents and Settings\All Users\Documents\CASIO\ECR）

・Windows® XP 以外の場合には、以下のフォルダーの下にデータが保存されます。
　　>ライブラリ>ドキュメント>CASIO>ECR
　　（C:\Users\Public\Documents\CASIO\ECR）

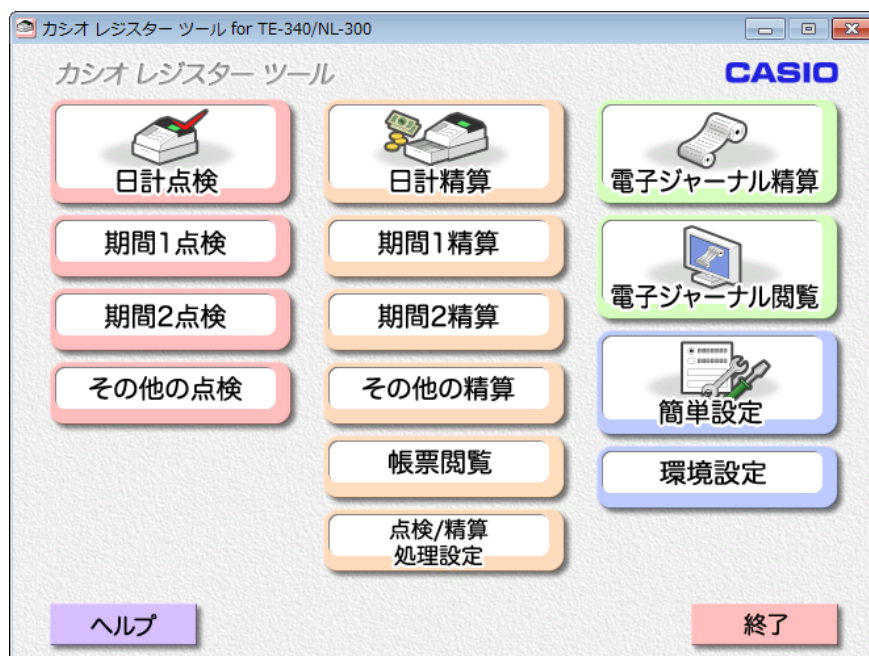
2.6 環境設定

レジスターとの通信やデータ処理をするための、パソコン側の設定を行います。
設定画面はメインメニューの＜環境設定＞のタイトルをクリックすると表示できます。
COM ポート番号は、[コントロールパネル] - [システム] - [デバイス マネージャー] の[ポート（COM と LPT）] から調べることができます。（各 OS によって表示方法が異なります。）

COM ポート番号	ご使用のパソコンに複数の COM ポートが有る場合、どのポートを使って通信するかを設定します。Windows から、存在している COM ポートが有る場合、COM 番号の横に名称が表示されます。
デバイス マネージャー	Windows のシステムのデバイス マネージャーを表示します。COM ポートの確認や COM ポートの番号の変更ができます。変更するには、管理者権限(Administrator)が必要です。

[確定]　　　設定を有効にして、前の画面に戻ります。
[キャンセル] 処理を行なわずに前の画面に戻ります。

Windows のシステムのデバイスマネージャー画面

3. メインメニュー

3.1 メインメニュー

ソフトウェアを起動すると下記のメインメニュー画面が表示されます。
画面内のタイトルをクリックすると、そのメニューが起動します。

（この画面上で右クリックするとバージョン情報を表示します）

日計点検：　レジスターから日計売上データを一括受信し、帳票を作成します。
（レジスターの売上データはクリアされません）
日計精算：　レジスターから日計売上データを一括受信し、帳票を作成します。
（レジスターの売上データはクリアされます）
期間 1/2 点検：レジスターから期間集計１または期間集計２の売上データを一括受信し、帳票を作成します。
（レジスターの売上データはクリアされません）
期間 1/2 精算：レジスターから期間集計１または期間集計２の売上データを一括受信し、帳票を作成します。
（レジスターの売上データはクリアされます）

Point

日計と期間集計
日計：一日の売上結果の集計です。商品分類（部門別）、取引キー別や担当者別の集計を取ることが可能です。
期間集計：週や月などのある一定期間の売上結果の集計です。期間集計は、週計と月計など期間を変えた集計を取る、または月計と販促などの効果測定を得るために、期間１と期間２の２つがあります。

その他の点検：見たいレポート名（および日計 / 期間の別）を画面の中で指定します。
（レジスター内の売上はクリアされません）
その他の精算：見たいレポート名（および日計 / 期間の別）を画面の中で指定します。
（レジスターの売上はクリアされます）
帳票閲覧：　パソコン内に保存されている、精算データの帳票を閲覧します。
点検 / 精算処理設定：⑴ 日計 / 期間１/ 期間２の点検 / 精算時、一括受信する種別を設定します。
⑵ 固定合計器の帳票に表示する項目を選択します。

電子ジャーナル精算：レジスターから電子ジャーナルデータを受信し、保存します。（レジスター内の電子ジャーナルデータは クリアされます。電子ジャーナルをお使いの場合、この精算は毎日行なってください。）

電子ジャーナル精算機能をご利用になる場合は、レジスターにあらかじめ以下の手順の設定をしてください。

⑴ 簡単設定の［レジから受信］を実行する。
⑵ 簡単設定の［全体設定］メニューに入る。
「日計明細精算終了時、電子ジャーナルをクリアする」を「いいえ」に設定する。
⑶［確定］で簡単設定の画面に戻る。
⑷ 簡易設定の［レジへ送信］を実行する。

電子ジャーナル閲覧：パソコン内に保存されている電子ジャーナルデータを閲覧します。

簡単設定：パソコンの画面からレジスターのさまざまな設定を行ないます。
レジスター内の現在の設定内容を受信して、それを変更することもできます。

環境設定：レジスターとの通信やデータ処理するための、パソコン側の設定を行ないます。

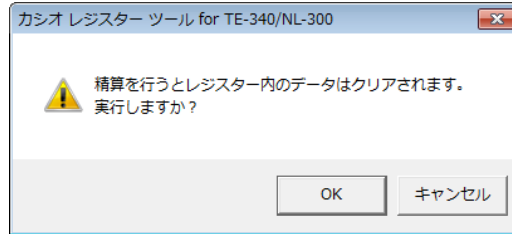
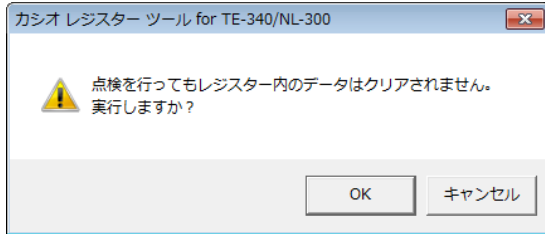
4．売上データの取り込み

4.1 売上データの取り込み

4.1.1　＜日計点検 / 日計精算＞

4.1.2　＜期間集計１点検/期間集計１精算＞

4.1.3　＜期間集計２点検/期間集計２精算＞

これらのメニューを選択後、下記の確認画面を表示します。
[OK] を選択すると、すぐにレジスターと通信を始めます。

その後、通信により収集されたデータを帳票として表示します。

以下は、本ツールにより生成される帳票の Excel2007 でのサンプルです。Excel の各バージョンにより表示が異なる場合があります。

固定合計機

取引キー

ＰＬＵ

担当者

部門

部門グラフ

時間帯別売上

時間帯別売上グラフ

月間売上

月間売上グラフ

4.1.4 ＜その他の点検 / 精算＞

その他の点検　見たいレポート名（および日計 / 期間の別）を画面の中で指定します。
［実行］を選択すると、レジスターからデータを受信し、帳票を作成します。
（レジスター内の売上はクリアされません）

その他の精算　見たいレポート名（および日計 / 期間の別）を画面の中で指定します。
［実行］を選択すると、レジスターからデータを受信し、帳票を作成します。
（レジスターの売上はクリアされます）

○日計 / 期間１/ 期間２を選択後、点検 / 精算を行ないたい種別（レポート名）をチェックします。

［実行］　レジスターから売上データを受信して、帳票を表示します。

［戻る］　処理を行なわずに前の画面に戻ります。

4.1.5 ＜帳票閲覧＞

パソコン内に保存されている精算データの帳票を閲覧します。

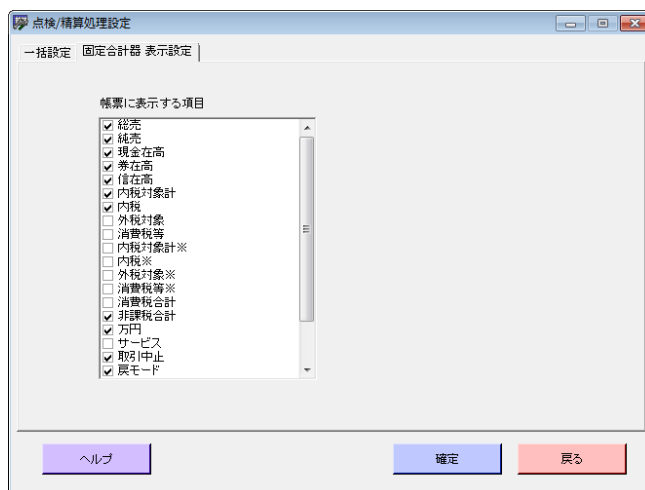
○日計 / 期間１/ 期間２を選択後、精算年月日と閲覧したい種別（レポート名）を指定します。

［閲覧］　指定した売上データの帳票を表示します。

［戻る］　処理を行なわずに前の画面に戻ります。

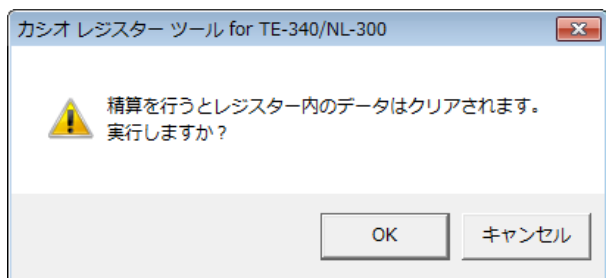
4.1.6　＜点検 / 精算処理設定＞

＜日計点検 / 精算＞、**＜期間集計１点検 / 精算＞**、**＜期間集計２点検 / 精算＞**のメニューの中で行なう点検 / 精算処理（収 集するファイルや合計器）を設定します。

○ 日計 / 期間１/ 期間２の点検 / 精算ごとに収集したいファイル（固定合計器、取引キーなど）を選択します。また、画面 上のタブを押して、固定合計器内の帳票に表示する合計器を選択します。

［確定］　入力した選択肢を確定します。

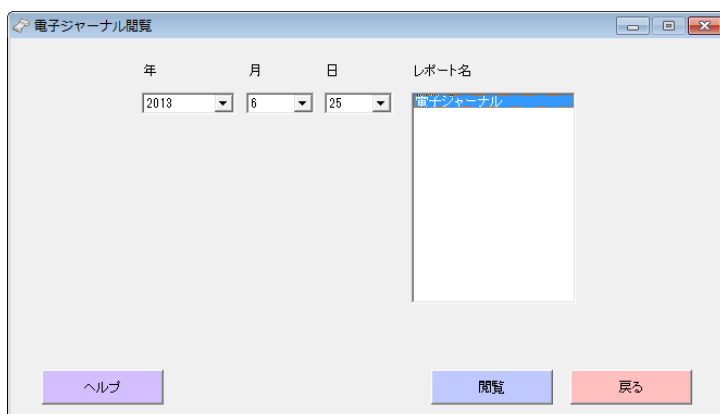
［戻る］　処理を行なわずに前の画面に戻ります。

4.1.7　＜電子ジャーナル精算＞

電子ジャーナルデータを収集して、帳票を作成します。（レジスターのデータはクリアされます）

［OK］　　　　レジスターと通信し、電子ジャーナルデータを収集します。

［キャンセル］処理を行なわずに前の画面に戻ります。

4.1.8　＜電子ジャーナル閲覧＞

パソコン内に保存されている電子ジャーナルデータを閲覧します。精算年月日でデータを指定します。

［閲覧］　指定した電子ジャーナルデータを表示します。

［戻る］　処理を行なわずに前の画面に戻ります。

5．簡単設定

5.1 簡単設定の機能

パソコンの画面から、レジスターにさまざまな設定を行ないます。

レジスター内の現在の設定内容を受信して、編集することも可能です。

商品のメンテナンス	商品名や単価などを設定します。
基本設定	レジスターの基本的な動作や、取引キーの機能を設定します。
印字	レシートや領収書などの印字に関する設定をします。
レジ担当者	担当者の名前や担当者番号を設定します。
税金	税制が改定された場合の税率の変更や、税金関係の印字の設定をします。

○各設定項目のアイコンをダブルクリックすると、それぞれの設定編集画面が開きます。

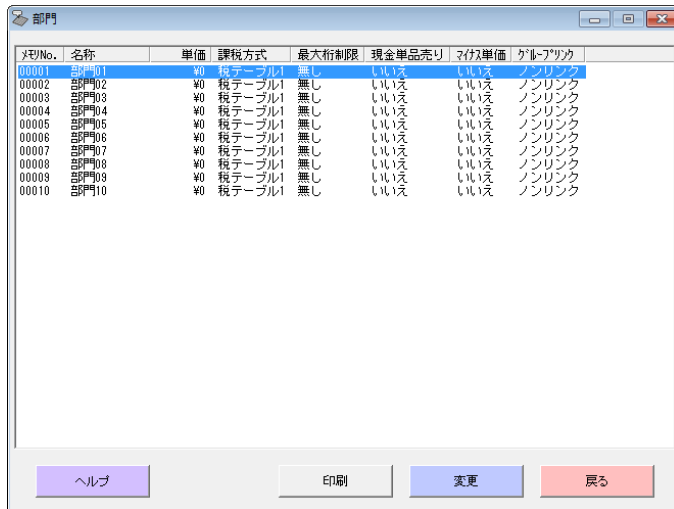
［レジから受信］ 現在のレジスター内の設定内容すべてをパソコンに読み込みます。
それまでパソコン内にあった設定データは、読み込んだ内容で上書きされます。

［レジへ送信］ 現在のパソコン内の設定内容すべてをレジスターに書き込みます。
それまでレジスター内にあった設定データは、書き込んだ内容で上書きされます。

［戻る］ 設定の編集結果をパソコン内に保存して、前の画面に戻ります。

レジスターの設定内容とパソコン内部の設定データとの矛盾を回避するため、パソコンでレジスターの設定をする場合、最初にレジから設定データを受信し、それを編集することをお勧めします。

横倍文字は以下の方法で設定します。

全角文字の場合：横倍にする文字を半角のアンダーバーで挟む（例：部門→ _部__門 _）

半角文字の場合：横倍にする文字の前に半角のアンダーバーを付ける（例：PLU → _P_L_U）

5.1.1 ＜部門＞

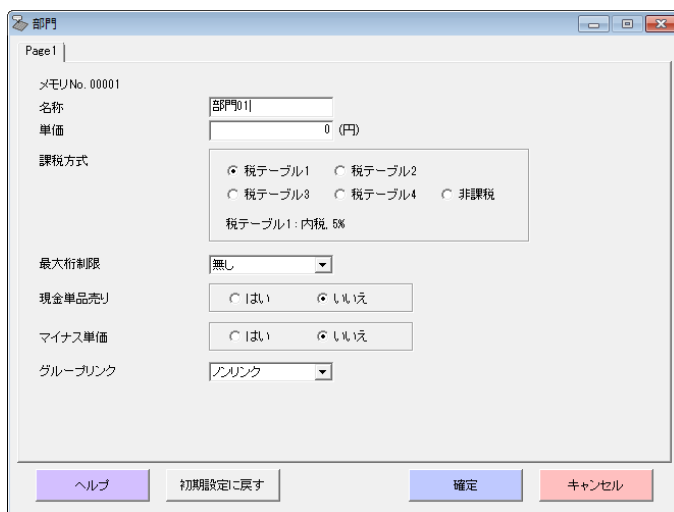
＜部門一覧＞

部門の設定内容一覧を示します。
目的の部門をダブルクリックすると、その部門の設定画面（**＜部門設定＞**の画面）を開きます。

［印刷］　部門の一覧を印刷します。 開始メモリ番号と終了メモリ番号を入力して、印刷範囲を指定することもできます。
［変更］　目的の部門の行を指定して［変更］をクリックすると、その部門の設定画面を開きます。
［戻る］　前の画面に戻ります。

＜部門設定＞

商品名や単価などを設定します。

名称　半角 12 文字（全角６文字）以内
単価　６桁以内
課税方式　消費税計算に使用する税テーブルを指定します。（**＜税テーブル＞**の項目を参照してください）
最大桁制限　数字の打ち間違えを防ぐため、設定した桁数より大きい単価を入力して登録することを禁じます。
現金単品売り　食券発行など、その部門を登録しただけでレシートを発行し、取引を終了するために単品現金売りの設定をします。この設定をすると預かり金入力や釣り銭計算はできません。
マイナス単価　定額のクーポン券などの登録のため、登録金額が常に負で処理されます。この設定をすると、通常の商品登録には使えません。
グループリンク　グループリンク先一覧から、この部門が集計される商品分類（グループ）を指定します。

［初期設定に戻す］　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
［確定］　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
［キャンセル］　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.2 <PLU>

<PLU一覧>

PLU の設定内容一覧を示します。
目的の PLU の行をダブルクリックすると、その PLU の設定画面（**< PLU 設定>**の画面）を開きます。

［印刷］　PLU の一覧を印刷します。
　　　　　開始メモリ番号と終了メモリ番号を入力して、印刷範囲を指定することもできます。
［変更］　目的の PLU の行を指定して［変更］をクリックすると、その PLU の設定画面を開きます。
［戻る］　前の画面に戻ります。

<PLU 設定>

商品名や単価などを設定します。

単価	６桁以内
課税方式	消費税計算に使用する税テーブルを指定します。(**<税テーブル>**の項目を参照してください)
品番 PLU	「品番 PLU」は単価が変わることがある商品を PLU に指定する場合に使用します。品番 PLU は通常の PLU と異なり、PLU 番号を指定しただけでは登録されず、単価を入れて<金額>キーを押すことで登録されます。
最大桁制限	数字の打ち間違えを防ぐため、設定した桁数より大きい単価を入力して登録することを禁じます。
現金単品売り	食券発行など、その PLU を登録しただけでレシートを発行し、取引を終了するために単品現金売りの設定をします。この設定をすると預かり金入力や釣り銭計算はできません。
マイナス単価	定額のクーポン券などの登録のため、登録金額が常に負で処理されます。この設定をすると、通常の商品登録には使えません。
部門リンク	部門のリンク先一覧から、この PLU（商品）が集計される商品分類（部門）を指定します。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.3　＜全体設定＞

レジスターの基本的な動作を設定します。

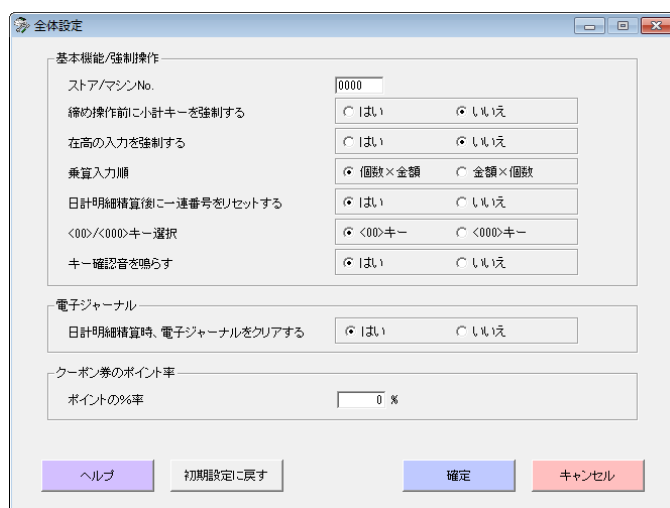
基本機能 / 強制操作

ストア / マシン No.	レシートに印字するレジスターの番号です（0001 - 9999）。0000は印字しません。
締め操作前に小計キーを強制する	小計キーを押さないと締め操作ができません。
在高の入力を強制する	レポートの発行前に在高の入力（在高申告）を強制する機能です。
乗算入力順	<X/ 日時 > キーで乗算登録を行なう場合の、個数と単価の入力順番を設定します。
日計明細精算後に一連番号をリセットする。	日計明細精算後の次のレシートの一連番号を1から始めるか、精算後もその まま続けるかを設定します。
<00>/<000> キー選択	<00> キーの位置のキーを <00> のまま使うか、<000> として使うかを設定します。
キー確認音を鳴らす	キー確認音を鳴らしたり、止めたりします。

電子ジャーナル

日計明細精算後、電子ジャーナルをクリアする。	「はい」の場合、日計明細精算レポートを発行すると、電子ジャーナルをクリアします。「いいえ」の場合、日計明細精算レポートを発行しても電子ジャーナルをクリアしません。本ツールの「電子ジャーナル精算機能」をご利用になる場合は、必ず「いいえ」に設定してください。

クーポン券のポイント率

ポイントの%率	お買い上げ合計金額に対する%率を設定します（0.01 - 99.99%）。０%以外の場合、レシート発行時に自動的にクーポン券を印字します。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.4 ＜取引キー＞

＜取引キー一覧＞

取引キーの設定内容一覧を示します。
目的の取引キーの行をダブルクリックすると、その取引キーの設定画面を開きます。
（以下にそれぞれのキーごとの設定画面を示します）

［変更］　　目的の取引キーの行を指定して［変更］をクリックすると、その取引キーの設定画面を開きます。
［戻る］　　前の画面に戻ります。

＜現金＞＜商品券＞＜信（クレジット）＞

キーキャラクタ	半角８文字（全角４文字）以内
内税額を印字する	レシートに税の対象額と内税額を印字します。
一部入金を認める	締め操作時の一部入金を認めます。（預かり不足でもエラーになりません）
預かり金の入力を認める	締め操作時の預かり金の入力を認めます。
預かり金の入力を強制する	預かり金を入力しないと、締め操作ができなくなります。
預かり金の最大金額の制限（左端の数値）	ここで設定した値よりも大きい金額の預かり操作を禁止します。
預かり金の最大金額の制限（"0" の個数）	"00" では制限しない。設定数値例 50,000 円→ 54　100,000 円→ 15
釣り銭の最大金額の制限（左端の数値）	ここで設定した値よりも大きい金額の釣り銭となる預かり金額による操作を禁止します。
釣り銭の最大金額の制限（"0" の個数）	"00" では制限しない。設定数値 9,000 円→ 93　3,500 円→設定不可

［初期設定に戻す］　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
［確定］　　　　　　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
［キャンセル］　　　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

＜万円＞

キーキャラクタ　半角８文字（全角４文字）以内
キーの種類　＜万円＞キーを＜千円＞キーに変えます。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

＜入金＞＜出金＞

キーキャラクタ　半角８文字（全角４文字）以内
入力できる最大金額の制限（左端の数値）　ここで設定した値よりも大きい金額の預かり操作を禁止します。
入力できる最大金額の制限（"0" の個数）　"00" では制限しない、設定数値例）50,000 円→ 54　100,000 円

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

<−（マイナス）>

キーキャラクタ　半角８文字（全角４文字）以内
値引き金額　６桁以内
課税方式　消費税計算に使用する税テーブルを指定します。
（**<税テーブル>**の項目を参照してください）
小計が負になることを認める　小計金額がマイナスになるような値引き操作を許します。
最大桁制限　ここで設定した桁数よりも大きい金額を入力しての値引き操作を禁止します。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

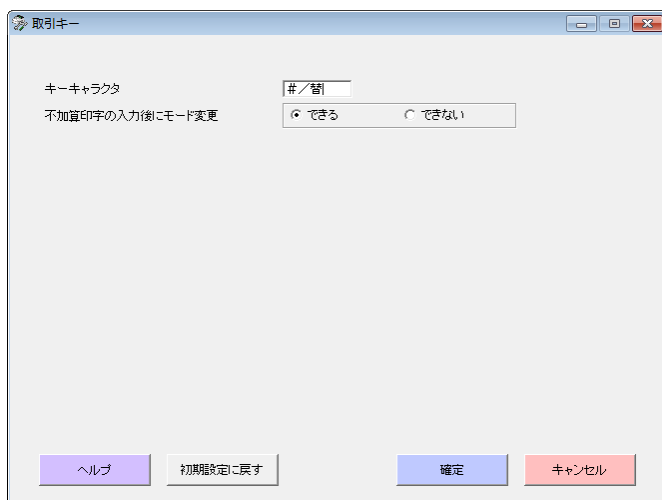
<%>

キーキャラクタ　半角８文字（全角４文字）以内
%率　0,　0.01 - 99.99%
計算方式　割引き（%ー）として使用するか、割増し（%＋）として使用するかを設定します。
端数処理　計算結果の小数第一位の端数処理方法を設定します。
課税方式　消費税計算に使用する税テーブルを指定します。
（**<税テーブル>**の項目を参照してください）
新たな%率の入力を認める　設定された%率とは別に、%率を入力して割引き / 割増し登録する事を認めます。
複数の%率を使用する場合、この設定をしておきます。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

＜＃／替＞

キーキャラクタ　半角８文字（全角４文字）以内

不加算印字の入力後にモード変更　通常、取引の最初に不加算印字の入力を行なった後、モードスイッチを替えてもエラーにはなりません。この設定をすると、不加算印字の入力後に、モードスイッチを替える と「モード替えエラー」になります。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

＜その他のキー＞

キーキャラクタ　半角８文字（全角４文字）以内

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.5 ＜レシート/ジャーナル＞

レシート / ジャーナルの印字に関する設定をします。

項目	説明
レシート / ジャーナル選択	レシートを発行するか／ジャーナル（営業記録）を印字するかの切り替えをします。
ストア / マシン No.	レシートに印字するレジスター番号 (00001 - 9999) を設定します ("0000" の場合は印字しません)
時刻	時刻の印字／非印字の切り替えをします。
24 時間制 /12 時間制	時刻を 24 時間制にするか／ 12 時間制にするかの切り替えをします。
一連番号	一連番号の印字／非印字を切り替えます。
買上点数	買上点数の印字／非印字を切り替えます。
レシートを縦倍印字する	レシートを縦倍文字で印字するか／標準文字で印字するかを切り替えます。この設定は「レシー ト / ジャーナル選択」が「レシート」のときのみ有効です。
レシートに背景を印字する	レシートに背景を印字するか／印字しないかを切り替えます。この設定は「レシート / ジャー ナル選択」が「レシート」のときのみ有効です。
サーマルポップを印字する	レシートの末尾にサーマルポップを印字するか／印字しないかを切り替えます。この設定は「レシート / ジャーナル選択」が「レシート」のときのみ有効です。また、サーマルポップが設定された電子店名スタンプがレジスターに装着されていなければなりません。
ジャーナルへ日付	ジャーナルへの日付を印字するか／印字しないかを切り替えます。この設定は「レシート / ジャー ナル選択」が「ジャーナル」のときのみ有効です。
ジャーナルへ登録明細	ジャーナルへ登録明細を印字するか／印字しないかを切り替えます。この設定は「レシート / ジャーナル選択」が「ジャーナル」のときのみ有効です。
ジャーナルを圧縮印字する	ジャーナルを縦方向に 1/2 に圧縮して印字するか／標準文字で印字するかの切り替えを行ない ます。この設定は「レシート / ジャーナル選択」が「ジャーナル」のときのみ有効です。
ロゴメッセージ	ロゴメッセージの内容と印字／非印字を設定します。ロゴメッセージは最大で半角 24 文字（全 角 12 文字）× 最大 6 行の印字ができます。なお、電子店名スタンプに設定されたロゴメッセー ジを使う場合は、非印字に設定してください。
コマーシャルメッセージ	コマーシャルメッセージの内容と印字／非印字を設定します。コマーシャルメッセージは最大 で半角 24 文字（全角 12 文字）× 最大５行の印字ができます。なお、電子店名スタンプに設定されたコマーシャルメッセージを使う場合は、非印字に設定してください。
ボトムメッセージ	ボトムメッセージの内容と印字／非印字を設定します。ボトムメッセージは最大で半角 24 文字（全角 12 文字）× 最大５行の印字ができます。
乗算個数の印字	<X/ 日時 > キーで乗算登録を行なった場合の、個数を示す印字文字を設定します。半角２文字（全角１文字）
買上点数の印字	買上点数を示す印字文字の設定を行ないます。半角２文字（全角１文字）

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.6 ＜領収書＞

領収書の印字に関する設定をします。

領収書のタイトル	領収書と領収証を切り替えます。
但し書き	但し書き無し、お品代、お食事代、ご飲食代、手数料、印紙代、証紙代、お薬代、治療費、書籍代、を切り替えます。
税額を印字する	領収書に税抜き金額と税額を印字する／印字しないを切り替えます。
収入印紙必要額	お買い上げ金額がこの設定値以上の場合に、収入印紙枠を印字します。また、明細レポート内の「領収書 印紙」の項目に集計されます。（この設定値よりお買い上げ金額が小さい場合、「領収書」の項目に集計されます。０円を設定すると、収入印紙枠を印字しません。）
領収書に背景を印字する	領収書の背景に模様を印字する／印字しないを切り替えます。

[初期設定に戻す]	この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]	この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]	この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.7　＜クーポン券＞

クーポン券の印字に関する設定をします。

ポイント印字	レシートのポイント点数のタイトルを設定します。半角８文字（全角４文字）以内
ポイントの%率	お買い上げ合計金額に乗じる%率を設定します（0.01 - 99.99%）。 0% を設定するとクーポン券の印字を行ないません。
クーポン券メッセージ	クーポン券のメッセージを設定します。最大で半角 24 文字（全角 12 文字）× 最大６行

印字例

[初期設定に戻す]	この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]	この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]	この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.8　＜予約券＞

予約券の印字に関する設定をします。

予約券の表示	予約券発行時にメイン表示窓に出す文字を設定します。半角８文字（全角４文字）以内
予約券の表題印字	予約券のタイトルを設定します。半角 24 文字（全角 12 文字）以内
予約券メッセージ⑴	予約券タイトルの下に印字するメッセージを設定します。 最大で半角 24 文字（全角 12 文字）× 最大４行
予約券メッセージ⑵	予約内容の下に印字するメッセージを設定します。 最大で半角 24 文字（全角 12 文字）× 最大４行

印字例

印字	
＊＊　ご予約券　＊＊	←　予約券タイトル
様	←　予約券メッセージ ⑴
下記のとおり	←　予約券メッセージ ⑴
ご予約を承りました。	←　予約券メッセージ ⑴
１２月３１日（土）	
２３時４５分	
ご来店を	←　予約券メッセージ ⑵
お待ちしております。	←　予約券メッセージ ⑵

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.9　＜点検 / 精算レポート＞

点検 / 精算レポートの印字に関する設定をします。

総売上の印字	明細レポート上の「総売」の文字を設定します。
純売上の印字	明細レポート上の「純売」の文字を設定します。
点検 / 精算の個数印字	レポート上の個数を示すシンボル文字を設定します。半角２文字（全角１文字）以内（例：点、個、枚、ml など）

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.10 ＜担当者設定＞

＜担当者一覧＞

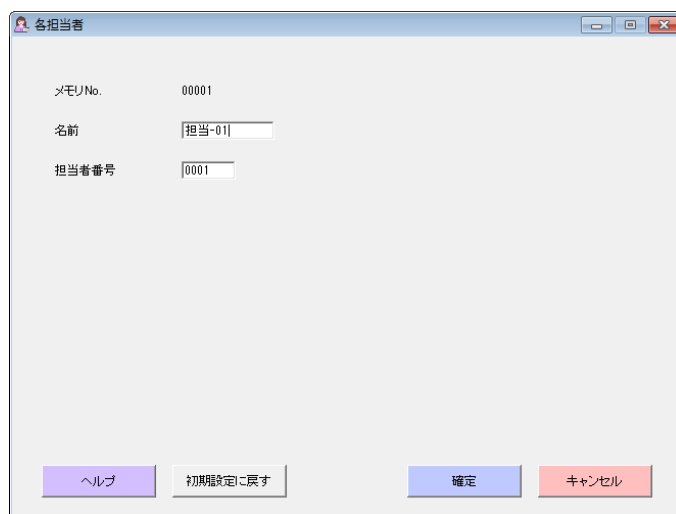
担当者を使用する場合、「はい」を選択します。
目的の担当者をダブルクリックすると、その担当者の名前や担当者番号の設定画面が開きます。

［変更］　目的の担当者行を指定し［変更］をクリックすると、その担当者の設定画面が開きます。
［戻る］　前の画面に戻ります。

＜各担当者＞

各担当者の名前や担当者番号を設定します。

名前　　　　半角 12 文字（全角６文字）以内

担当者番号 担当者ごとに専用の番号を割り当てます（0001 – 9999：重複をしないこと)。

[初期設定に戻す]　　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　　　　　　　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　　　　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.11 ＜税テーブル＞

税金計算用テーブルと税金に関するレシート / ジャーナルの印字を設定します。 お買い上げ後には､内税がテーブル１､外税がテーブル２に設定されています｡商品のメンテナンスで､内税商品の場合はテー ブル１を、外税商品の場合はテーブル２を指定するようにします。
なお、テーブル３、４は消費税改定で複数税率になった場合に使用されるものです。

税テーブル１～４
　税タイプ　内税（内掛け）か外税（外掛け）かを設定します。
　税率　　　0 - 99.9999%
　端数処理　税金の小数点第一位の端数処理を設定します。
印字制御
　非課税合計額　　レシート／ジャーナル上の「非課税合計」行の印字／非印字を切り替えます。
　課税対象額　　　レシート／ジャーナル上の「内税対象計」や「外税対象」行の印字／非印字を切り替えます。
　税率　　　　　　レシート／ジャーナルおよび明細レポート上の税金行の税率の印字／非印字を切り替えます。
　課税１～４シンボル　　　税テーブル１～４に対応した課税シンボルの印字／非印字を切り替えます。
　全課税シンボル　内税、外税、非課税すべてを対象とする値引きや割引き時の課税シンボルの印字／非印字を切り替えます。
　非課税シンボル　非課税シンボルの印字／非印字を切り替えます。

[初期設定に戻す]　　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　　　　　　　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　　　　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。

5.1.12 ＜税予約テーブル＞

消費税改定が行なわれた場合に税タイプ・税率を設定します。変更日の設定を行なうと、変更当日に電源を入れたときに税テーブルの内容が書き換えられます。

税予約テーブル１～４
　税タイプ　内税（内掛け）か外税（外掛け）かを設定します。 税率 0 - 99.9999%
税テーブル変更日
　変更日　　税予約テーブルに設定された内容を有効にする日付を設定します。

[初期設定に戻す]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、お買い上げのときの状態に戻します。
[確定]　この画面の中で行なった設定内容を有効にして、パソコン内に保存します。
[キャンセル]　この画面の中で行なった設定内容を無効にして、前の画面に戻ります。